

## 《学校用》アレルギー疾患用学校生活管理指導表－活用のための参考資料

- ◆ 学校は、学校生活管理指導表で「保護者等と相談する。」とある場合の参考にしてください。
- ◆ 主治医の診断や指導に基づき、保護者と相談する必要がある事項を確認してください。

# 気管支喘息

## 学校生活上の留意点（事前に保護者と相談しておくこと）

### A. 運動（体育・部活動など）

#### 内 容 例

- |                       |  |
|-----------------------|--|
| 1. 運動への参加(体育等の見学)について | ■ 保護者は健康状態を学校に連絡 対応(見学)相談確認<br>(登校前、健康状態に変化の予兆が見られる場合等)  |
| 2. 発作の予防対策について        | ■ 学校は登校後の状況に応じ、本人や保護者等と相談<br>■ 学級(教科)担任等による体育見学時の学習内容の説明<br>■ 発作が起きやすい気候や運動内容の確認<br>■ 発作予防薬の使用 |
| 3. 発作が起きたときの対応について    | ■ 主治医の指導内容と学校での対応<br>■ 保護者への連絡先等の確認  |

### B. 動物との接触やホコリ等の舞う環境での活動

#### 内 容 例

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 1. 動物との接触について   | ■ 動物との接触は発作を誘発することへの共通理解<br>■ 主治医の指導内容確認(飼育係を避ける、周囲の理解等) |
| 2. 清掃活動について     | ■ 必要に応じてマスク着用<br>■ 清掃時、別室で待機の必要性<br>■ 配慮不要の状況            |
| 3. 配慮が必要な環境について | ■ カーペット敷きの教室、チョークの粉が舞う座席等                                |

### C. 宿泊を伴う校外活動

#### 内 容 例

- |                 |   |
|-----------------|---|
| 1. 事前確認すること     | ■ 健康状態と参加の可否(保護者を通じて主治医に確認)<br>■ 長期管理薬及び急性発作治療薬の使用状況<br>■ 薬の服用と環境の確保(吸入する場合の部屋等)<br>※ 学校は宿泊環境(寝具類、絨毯等使用状況)、周辺の医療機関等を調査、確認 |
| 2. 発作への予防対策について | ■ 健康観察と事後指導(状態に応じた行動等)<br>■ 別室での就寝(布団を上げ下ろしする環境の回避)<br>※ 本人への事前指導(活動中の注意事項)<br>■ 誘発原因の除去(引率者等の喫煙など)                       |
| 3. 発作への対応について   | ■ 発作時の服用内容、医療機関での受診の必要性<br>■ 保護者への連絡(活動への参加継続の判断等)  |

※ できるだけ参加できるよう配慮すること

# アトピー性皮膚炎

## 学校生活上の留意点（事前に保護者と相談しておくこと）

### A. プールでの指導及び長時間の紫外線下での活動

### 内 容 例

※ 皮膚の状態が悪く過敏性が高い場合は、皮膚への負担を少なくする配慮が必要です。

#### 1. プールでの水泳指導について

- 保護者は状態を学校に連絡 対応(見学)相談、確認
- 学級(教科)担任等による見学時の学習内容の説明
- 眼の周囲に症状が見られる場合のゴーグル着用
- 水泳指導終了後、シャワーで洗浄(付着した塩素を除去)、必要に応じ薬を塗る(範囲が広い場合は保健室等を利用)

#### 2. プールでの紫外線による症状悪化の予防について

- 日焼け止めクリーム、ラッシュガードの使用
- 休憩時間等における日陰(テントなど)の利用

#### 3. 長時間の紫外線下での活動について

- 長袖や長ズボン、日よけ帽子の着用  
日焼け止めクリームの使用
- ※ 学校は周囲への理解を図る

### B. 動物との接触

### 内 容 例

#### 1. 飼育当番について

- 主治医の指導内容を確認 飼育当番の免除
- ※ 学校は周囲への理解を図り、他の係分担を検討する
- ※ 教室内での動物の飼育は避ける

### C. 発汗後の対応

### 内 容 例

#### 1. 体を拭く

- 全身の清拭が必要な場合の環境づくり(保健室等利用)  
冷清\*をするときにはタオル2本\*\*を自宅から用意

\*冷清：冷水(水道水)で濡らしたタオルで拭くこと

\*\*濡れタオルで拭いた後、乾いたタオルで拭き取るため

#### 2. 薬を塗る

- 必要に応じて薬を塗る  
(範囲が広い場合は保健室等を利用)

#### 3. 着替える

- 体操服等の着替え(場所、時間の確保等)  
必要に応じて下着を持参

※ 学校と家庭で、「汗をかいたら拭く、着替える」ができるよう声をかける

# アレルギー性結膜炎

## 学校生活上の留意点（事前に保護者と相談しておくこと）

### A. プールでの指導

### 内 容 例

1. 状態の把握と対応について

- 主治医の指導内容を確認（プール入水可の状態等）
- 保護者は状態を学校に連絡 対応（見学）を相談、確認（プールでの指導中の見学場所：テント内、教室等）

2. ゴーグル着用について

- 水泳時は必ずゴーグルを着用

3. プールでの指導終了後の対応について

- 水泳指導終了後、シャワーで頭と顔面を洗浄  
人口涙液の点眼による洗眼

### B. 屋外活動

### 内 容 例

1. 予防対策について

- 季節や天候、風の強い日など屋外活動は要注意
- 帽子の着用、メガネやゴーグルの装着（遮光、防塵）
- 活動後水道水で洗顔、うがい、人口涙液による洗眼

# アレルギー性鼻炎

## 学校生活上の留意点（事前に保護者と相談しておくこと）

### A. 屋外活動

### 内 容 例

1. 予防対策について

- 花粉の飛散が多いとき、マスク等を使用
- 屋外から室内に入るとき、衣服や髪の毛に付着している花粉をよく払い落とす
- ※ 周囲への理解、協力を図る

### □ その他

### 内 容 例

1. 授業中の居眠り等が見られる場合

- 学校での様子を連絡 保護者は主治医に相談（薬の服用、鼻づまりによる睡眠障害との関連性確認）
- ※ 周囲への理解を図る

2. 自転車で通学する場合

- 本人・保護者は内服による影響を主治医と相談  
必要に応じて服薬中の通学方法を検討

3. 点鼻薬の使用について

- 点鼻薬を使用する場合の環境づくり（場所、時間等）

# 食物アレルギー・アナフィラキシー

## 学校生活上の留意点（事前に保護者と相談しておくこと）

※ 主治医の診断に基づく対応

※ 緊急時の対応

A. 給食	内 容 例
1. 給食の選択について	■ 学校現場の現状に即し、実行できる最良の対応を検討 （学校給食が原因となるアレルギーを発症させないことが前提、給食を楽しめることを目指す） ① 詳細な献立表対応      ② 一部弁当対応 ③ 除去食対応              ④ 代替食対応
2. 除去する食品や内容について	■ 主治医の診断に基づく対応 詳細な管理指導は別に作成
B. 食物・食材を扱う授業・活動	内 容 例
1. 微量の摂取・接触による発症防止について	■ 原因物質を食べるだけでなく、吸い込む、触れることで発症することへの理解、啓発（教職員、周囲の子ども等） ○ 牛乳パックを扱う授業 ○ ソバ打ち体験授業 ○ 小麦粘土を使った図工の授業
C. 運動（体育・部活動など）	内 容 例
1. 運動誘発アナフィラキシー	■ 家庭での運動制限を踏まえた学校での運動制限の基準
2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー	■ 原因食物の摂取を避ける 万が一摂取した場合は体育や運動は禁止
D. 宿泊を伴う校外活動	内 容 例
1. 事前に確認すること	■ 弁当や宿泊先の食事内容 ■ 周辺の医療機関の確認 （主治医の紹介、日本アレルギー学会のHP等から情報収集）
2. 持参薬について	■ 持参薬 服用・使用方法の確認 ■ エピペンの管理と使用後の対応